

審議会委員アンケート調査結果（速報）について

○対象及び回答数

総合計画審議会委員 49 名、回答数 41 名、回答率 83.6%

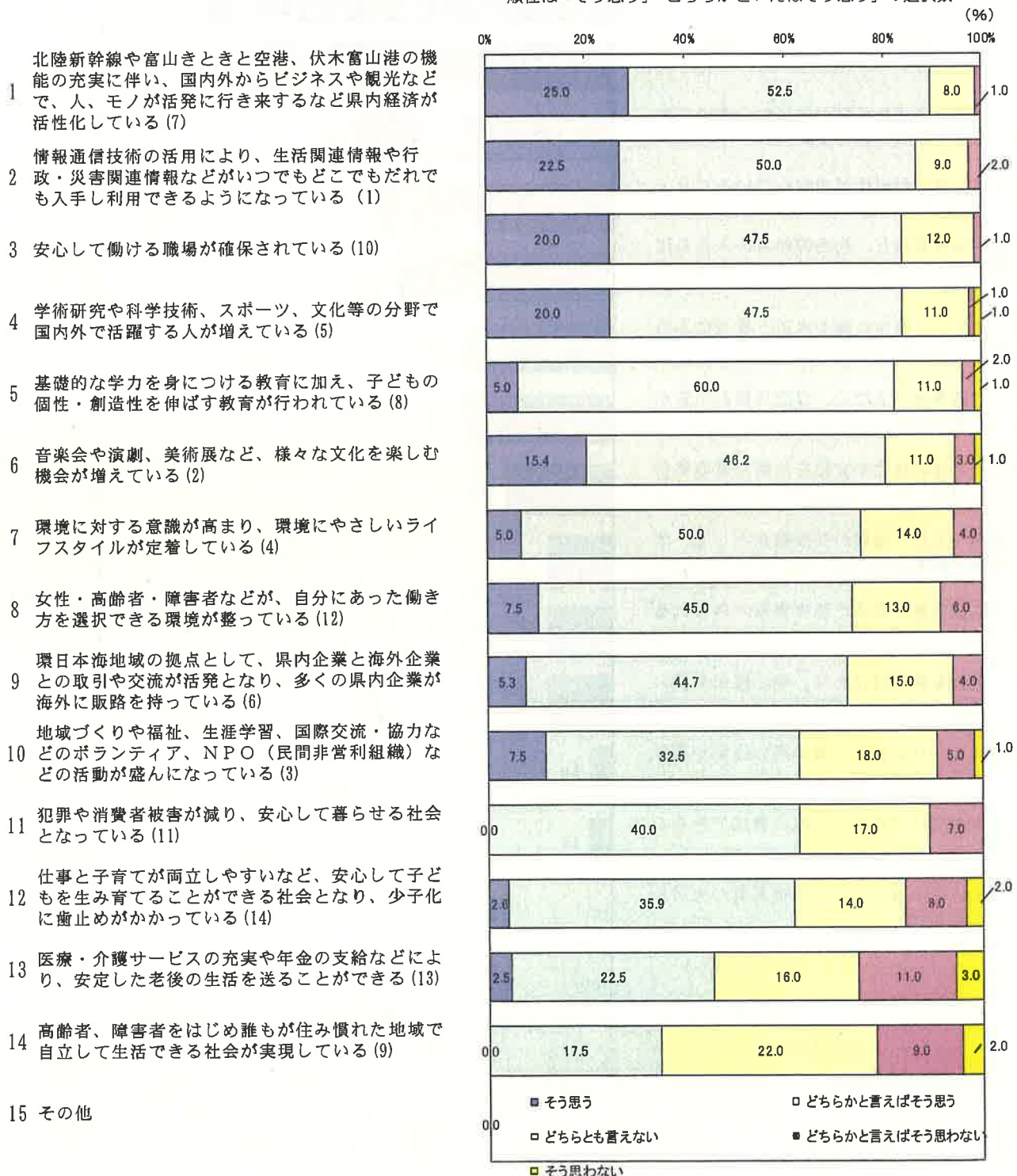
1. 今後 10 年の県づくり

1. 10 年後の県民生活はどのようになるとお考えか

北陸新幹線等による県内経済の活性化(77.5%)や情報化の更なる進展(72.5%)が上位となっている。一方で老後の生活や住み慣れた地域で自立して生活できることへの不安感が強い。

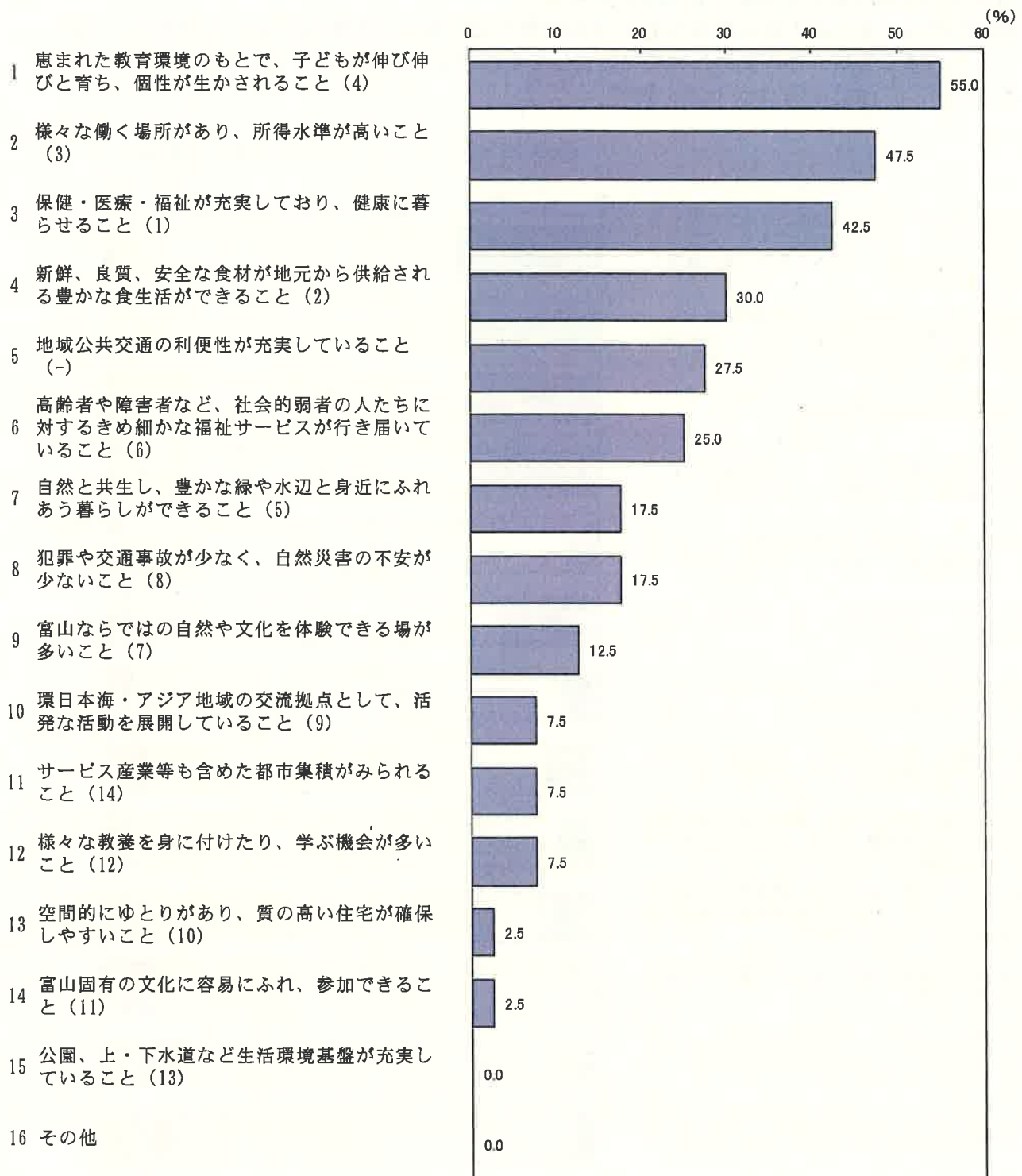
※下記の（ ）内は前回 H22 調査の順位

順位は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の選択数



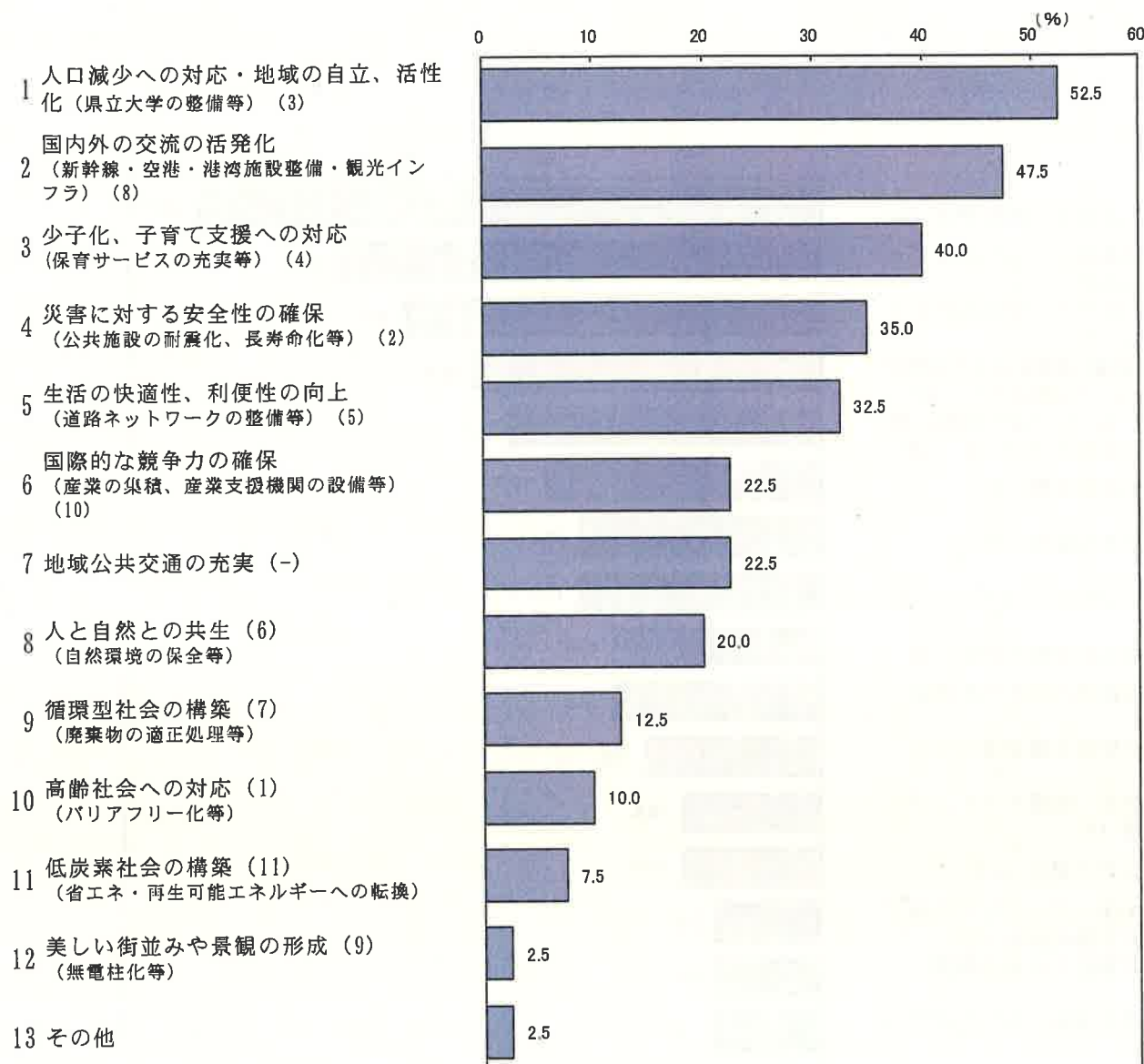
2. 富山の魅力形成のために特にどのようなことが重要か (3つ選択)

「恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が生かされること」(55.0%)、「様々な働く場所があり、所得水準が高いこと」(47.5%)、「保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること」(42.5%)の順となっている。



3. 県土づくり(社会資本整備)施策としてどのような成果を重視して整備を進めるべきか (3つ選択)

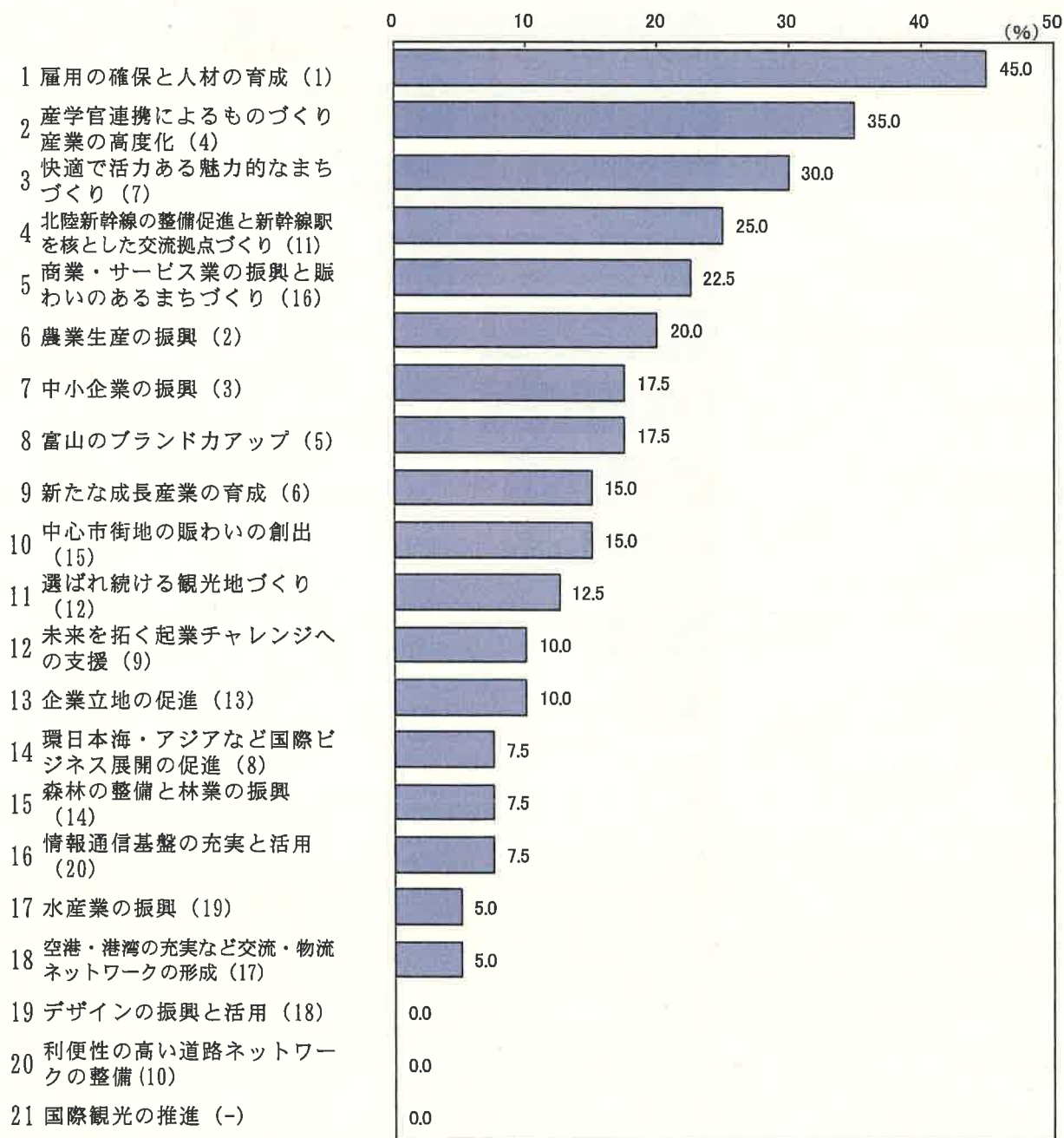
「人口減少への対応・地域の自立、活性化」(52.5%)、「国内外の交流の活発化」(47.5%)、「少子化、子育て支援への対応」(40.0%)の順となっている。



4. 今後10年間を通して特に重点的に推進していくことが求められる施策は何か

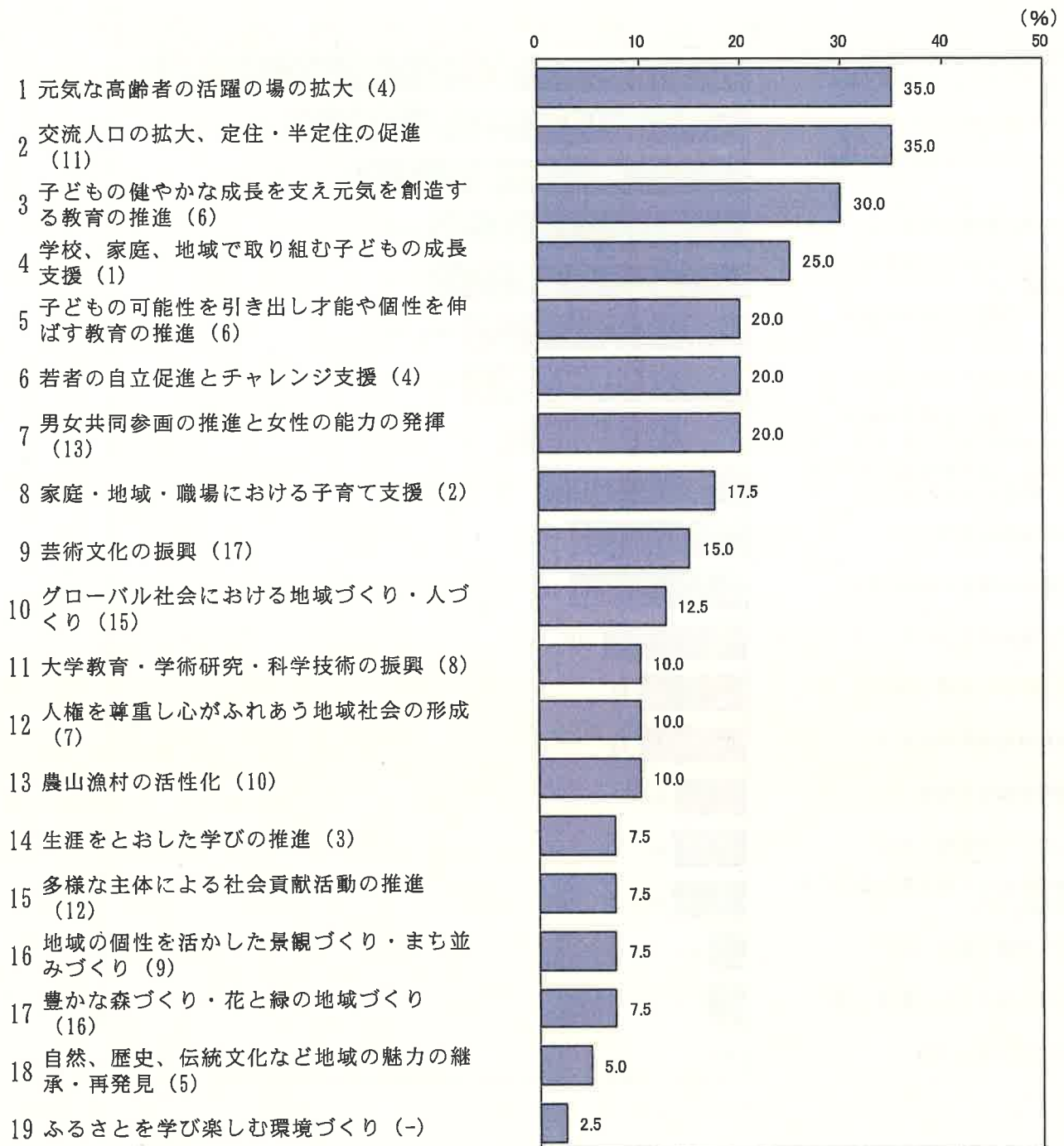
(1) 活力 (3つ選択)

活力分野では、「雇用の確保と人材の育成」(45.0%)、「産学官連携によるものづくり産業の高度化」(35.0%)「快適で活力ある魅力的なまちづくり」(30.0%)の順である。



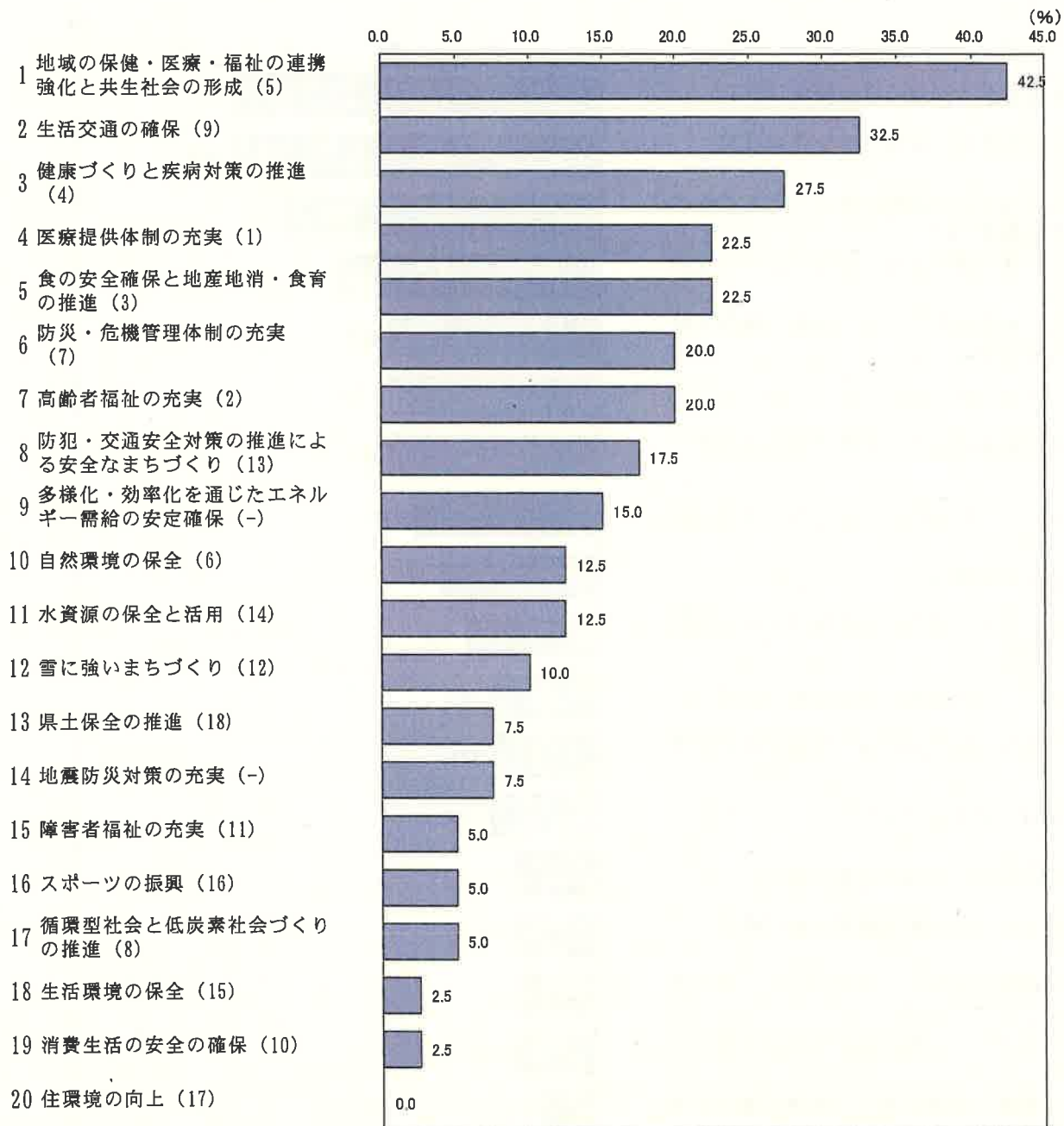
(2) 未来 (3つ選択)

未来分野では、「元気な高齢者の活躍の場の拡大」(35.0%)、「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」(35.0%)、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」(30.0%)の順である。



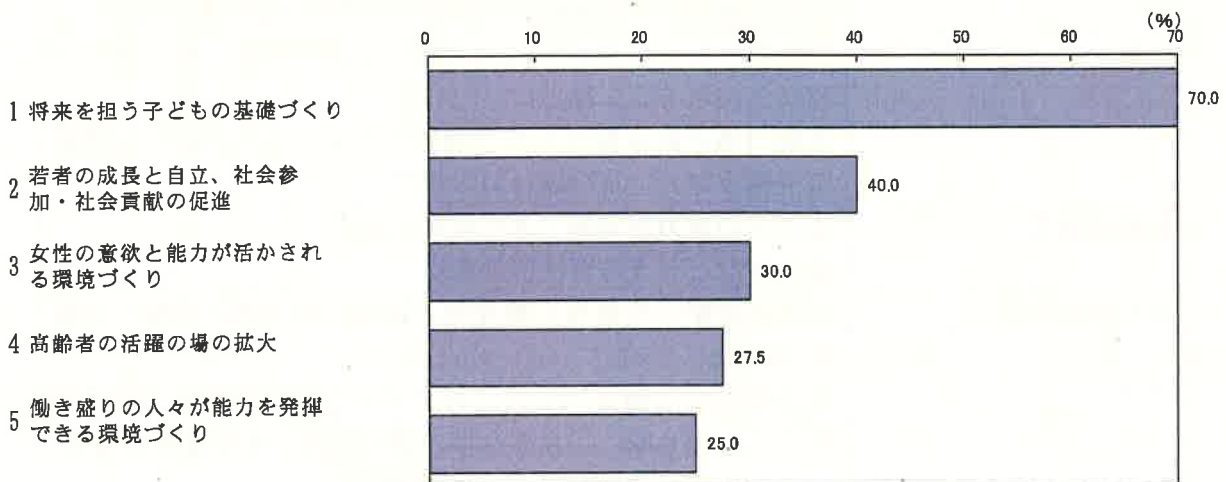
(3) 安心 (3つ選択)

安心分野では、「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」(42.5%)「生活交通の確保」(32.5%)、「健康づくりと疾病対策の推進」(27.5%)の順である。



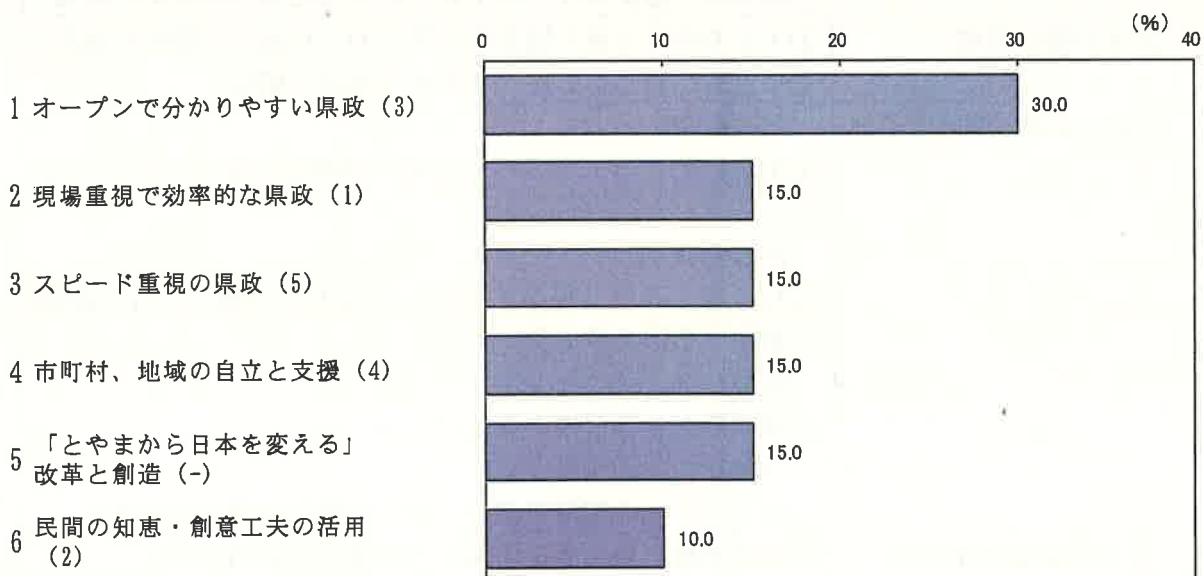
(4) 人づくり (2つ選択)

人づくりについては、「将来を担う子どもの基礎づくり」(70.0%)、「若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進」(40.0%)、「女性の意欲と能力が活かされる環境づくり」(30.0%)の順である。



(5) 行財政改革の推進 (1つ選択)

行財政改革の分野では、「オープンで分かりやすい県政」(30.0%)、現場重視で効率的な県政(15.0%)、スピード重視の県政(15.0%)、市町村、地域の自立と支援(15.0%)、「とやまから日本を変える」改革と創造(15.0%)となっている。



II. 分野別施策の方向

※各政策において、重要であると回答した数の多い上位2つを列記

	問5～問29	重要と思う分野等
活力	新規成長産業	①医療・バイオテクノロジー（抗体医薬品、拡散医薬品等） ②「観光（国際観光、広域観光）」
	新産業の創出	①企業、大学、試験研究機関等との連携による研究開発の促進 ②研究成果を実用化に結び付けるための支援組織の整備
	商業・サービス業施策	①コミュニティビジネスの支援（子育て支援、買い物サービス、地域おこしなど） ②魅力ある商店街づくり（消費者のニーズに合致した豊富な品揃えなど）及び賑わいの創出
	若者の定着	①若者の能力が発揮できる職場の確保 ②大学など高等教育機関の充実
	観光産業施策	①新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上 ②多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成、②世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」「富山湾」の高付加価値化
	農林水産業施策	①将来の農林水産業を支える担い手の育成確保 ②県産農林水産物のブランド力の向上（とやまブランドの育成・確立）
	農山漁村の課題	①特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興 ②自然環境や農山漁村景観を保全する活動への支援
	情報化	①情報ネットワークによる防災・緊急情報提供 ②情報ネットワークによる遠隔高度医療・在宅医療
未来	少子化対策	①労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備 ②保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減
	児童の健全育成	①子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保 ②子どもが安心して遊べる場所や施設の確保
	学校・家庭・地域での教育	（義務教育） ①生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること （高校教育） ①自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること （家庭） ①基本的な生活習慣を身に付けること （地域） ①ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること
	男女共同参画社会が十分でない理由	①社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと ②家庭において、家事・育児・介護などを女性の役割とする意識があること
	地域の中での協働の推進	①県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進 ②NPO・ボランティアの人材養成

	国際交流・国際協力	①情報の提供など県民が主体的に取り組む国際交流・協力活動への支援 ②優れた技術を有するボランティア派遣や、海外研修員・留学生の受入などの促進
	スポーツ振興	①総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化 ②スポーツ施設（学校体育施設開放を含む）の利・活用の促進、地域で活躍できるスポーツ指導者やボランティアの育成
安心	健康づくり	①がん検診、健康診断等の充実 ②健康に関する正しい情報・知識の提供や健康相談の充実、 ③歩こう運動やスポーツ・レクリエーション活動の充実のための環境の整備
	高齢社会対策	①在宅福祉・介護サービスの充実 ②健康づくり体制の充実・支援
	地域交通施策	①公共交通の利便性や安全性を向上する施策の推進（輸送設備整備支援等）、生活交通路線を維持する施策の推進（生活路線バス運行支援等） ②公共交通ネットワークの利便性向上の取組み（乗継案内、共通 IC カードの導入等）
	環境問題	①低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直す（食品ロス・食品廃棄物の削減、節電・省エネ）などの一人ひとりの取組みを推進 ②次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること
	防災対策	①災害に備えた避難場所の整備や物資の確保 ②災害情報伝達機能の強化
	安全なまちづくり	①高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進 ②身近で発生する犯罪の予防と検挙活動の強化
人づくり	人づくり	①ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切に する子どもの育成 ②優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの 育成
計画の推 進に向け た取組み	財政の健全化	①現在のサービス水準を維持していくため、ある程度の負担増もやむを得ない（施設の利用料のアップ、地方消費税の引上げや地方環境税などの導入も検討する必要がある） ②民間委託や市町村への権限移譲を進めるなど、行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである
	行財政改革	①職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行う、県の外郭団体の統廃合、業務執行の効率化を進める ②県庁の本庁（部局室課）や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減する
	広域連携の推進	①北陸三県（石川、福井）の連携を強化していく ②中国、韓国、ロシア沿海地方など環日本海地域との交流を活発化させる

自由意見について

活力	
1. 新たな成長産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの伝統を医療、福祉分野で活かし、ICTなど新しい技術も加えた新たな成長産業の創出
3. 産官学連携によるものづくり産業の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学連携によるものづくり産業の相互支援の必要性を感じる。富山の文化、産業（魚・林・農）への提言、研究、技術支援、文化の振興、大学・研究機関への助成（開発費用や研究助成金制度）、特色ある産業展開により、優秀な学生や若者の就職機会が増え、他県からの流入も期待できると考える。
4. 企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・関東、関西方面への新幹線の整備により短時間の広域移動が可能になる事から、企業の誘致を行い、企業立地の促進を図る。富山の特性をアピールし、県外から人の集積、若者の定着につなげていく。 ・企業の立地や若者（高齢者も）の起業チャレンジ支援・ベンチャー企業の育成などを図り、人口の流出を防ぐ。 ・耕作放棄地を中心に整備されることが多いように見受けられる。水資源や環境保全も含めて、計画的な開発が必要と考える。
8. 雇用の確保と人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・県内での雇用の確保や安定した経済力は定住にもつながり、若者の自立促進にもプラスとなる。人材の育成は、富山の活力を生み出し、人が人を呼び、すべての事柄の原動力になる。
11. 森林の整備と林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・木材価格の安定が重要である。
15. 利便性の高い道路ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、都会に住む人から富山は便利で近いと思ってもらうことが重要と考える。
18. 中心市街地の賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい美術館の完成によって、環水公園周辺の開発が大いに進み、明るく楽しい“憩い”の場で母や子、また、家族やカップルが気軽に出かけ空間・時間を共有してもらいたい。
19. 選ばれ続ける観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・“ものづくり”への投資はグローバル競争の中で埋もれ sunk cost 化する可能性が高いと考える。北アルプスを中心とした観光資源を最大限活用すべく、岐阜・長野・新潟との連携を深め、協同で開発していくことで、経済的な投資効果を高めることができるのではないかと。
20. 国際観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県の雄大な自然を海外にPRし、外国人観光客を呼び込む。

未来	
1. 家庭・地域・職場における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・初等教育の格差は都市部ほどではないが、0～2歳時へのサポートが不足していると考えられる。ひとりで悩む若い母親への支援を手厚くし、子育て環境に安定度が高まれば富山への移住も増えるのではないかと考える。 ・少子化に対して経済的な支援が必要、シングルマザーとしての選択も可能になる程度の社会支援が求められるのではないかと。また、通学路の事故や水路等での事故等の防止対策も併せて実施することが必要と考える。

未来

5. 大学教育・学術研究・科学技術の振興

・大学と企業との連携を強化すべきである。

7. ふるさとを学び楽しむ環境づくり

・富山に生まれた誇り、富山で学び働く喜びが実感できるよう、家庭、地域、学校、企業における様々な教育、支援などの取り組みを推進すべきである。

8. 芸術文化の振興

・県、マスコミ、民間団体の「三つ巴」の世界に類を見ない形で、芸術文化の振興が若い人の間にも深く浸透していくことを願う。

11. 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮

・若い意欲ある女性が県外で就職し、結果として若い女性が減っていく。若い意欲ある女性の職場を県内で増やすとともに、若い女性を引きつけるまちづくり、社会づくりが必要。富山県はものづくりが盛んで従来男性の仕事と思われていた職場が多い。女性の側も固定観念にとらわれず、ものづくり職場へどんどん進出してほしい。

16. 自然・歴史、伝承文化など地域の魅力の継承・再発見

・富山県内の祭をブラッシュアップし、観光客を呼び込む。

安心

1. 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成

・防災訓練を通じて共生社会を目指す。①障害者（車椅子、視覚、聴覚、精神、知的、発達障害）が防災訓練に参加し、障害の内容に対応した救助の声かけ、避難誘導の方法など実施要領に基づき訓練する。②この訓練を継続して実施することにより、誰でも障害者に対する災害時の対応が理解可能となる。③この訓練が地域全般に広がれば、日常生活の中で、困っている人を見かけたら気軽に声をかけて、安全誘導ができる。駅ホームでの転落防止など、日常的に差別の解消につながる。

・介護現場では職員確保が難しく、介護報酬が下がっているため経営が厳しく廃業しなければならない事業所が出ている。

・富山型デイサービスで基準該当の部分（障害者・児）の加算がつかないところの補助金を考えてほしい。

・地域共生社会は、ある程度の社会貢献意識がなければ成り立たないが、富山県民には「ボランティア」という言葉を嫌う傾向が強いように思える。「ボランティア＝無償」ではなく、貢献度合いによって支援した人のQOLもアップするような仕組みが必要だと考える。

・社会保障環境が厳しくなっていく中で公民協働し、地域ぐるみで支え合う地域共生社会づくりにより、安心・安全な暮らしを保障することが必要

2. 医療提供体制の充実

・少子高齢化の中で医療体制が財政的な理由によって大きく変えられようとしている。現在の体制も理由があって形成されているものであり、財政的な理由のみで変更することはないようにしていただきたい。

3. 健康づくりと疾病対策の推進

・病気になりにくい体、健康づくり対策が必要。地域をベースに、身近な所で誰でもいつでも健康づくりに参加できる環境があればよい。

4. 高齢者福祉の充実

・老人ホームの充実を図り、安心して老後を暮らせる仕組みが必要。

11. 水資源の保全と活用

・豊富な水資源を活用したクリーンエネルギーの確保が重要。

13. 生活交通の確保

・運転免許証を手放した高齢者は日常生活に不便を感じ、手放したことを後悔しておられる話を聞く。生活弱者を作らないためにも、生活交通の確保は高齢化社会において大切。

安心

・高齢者がマイカーに依存しなくてもよい生活交通の確保
バスを使用して「居住する集落→病院→市役所→銀行→スーパー→居住する集落」のように交通が確保されるべき

18. 地震・防災対策の推進

- ・一般家庭の耐震・免振の建物、構造物への支援を急ぐ。
- ・避難場所への周知徹底と防災訓練の浸透を図る。
- ・火山（立山）、津波・河川の決壊（神通川、常願寺川など重要河川のハザードマップを作成し、周知徹底）

19. 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり

- ・夜の車道は暗く車の運転には細心の注意がいる。設置してある街灯は歩道の明るさを保っているが、車道側にまでは明るさが届かない。夜の街灯をもっと明るくするために自然エネルギーを活用した省エネ照明を取り入れ、数を増やし、夜の街を明るくし、防犯や生活の安全性にもつなげればよい。
- ・自転車道の確保も重要。サイクリング人口が増え、レクリエーションや通勤・通学に自転車の利用が増加している。現在の自転車道路は狭く、安心・安全とはいえない。
- ・街なかや、公園等の公共機関の集まる場所（人なども多い場所）に防犯カメラの設置個所の増設が必要。犯罪・交通事故（ひき逃げ等）、テロ予防・抑止に役立ち安心安全の確保が可能と思われる。

人づくり

1. 将来を担う子どもの基礎づくり

- ・未来を担う子ども達の育成について、引きこもり・不登校・いじめなど様々な課題に対応できる人材の登用（育成）を行う。

2. 若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進

- ・若者の自立心を教育の中でも育みたい。
- ・富山で教育を受け、都市部で就職した若者が必ずしも成功するわけではない。都市部から戻ってきたとき再チャレンジできる環境整備をしておけば、おのずとUターン、Iターンが増えると考え。「若者の再チャレンジがしやすい県」にしていくべき。

3. 若者の社会の一員としての自立の促進

- ・将来社会の一員として働き自立した生活ができる教育の充実（家庭、学校、地域において）を図る。

5. 高齢者の活躍の場の拡大

- ・定年退職後の高齢者の方、体力的にも良好で、働く意欲のある方の活躍の場が必要。生きがい、働きがいを感じられる場の整備に取り組むべきではないか。

（全般）

- ・ふるさと、親を愛し、生きていくときに親や地域の人達に優しい言葉をかけたり、感謝を表現するような人づくりをしてほしい。

行財政改革の推進

1. オープンでわかりやすい県政

・ややもすると情報が十分に県民に行きわたっていない。気軽にPCなどで情報を共有できるシステム作りが必要ではないか。

3. スピード重視の県政

・知事のすばらしいリーダーシップに大いに期待している、早く、的確な判断こそ現代にふさわしい指導者像である。

5. 市町村、地域の自立と支援

・市町村職員の資質向上支援、圏域毎の市町村連携支援を推進し、住民に直結した市町村行政による住民サービスの向上を図る。県のリーダーシップに期待する。

総合計画審議会意見書

当県は常に幸福度上位に選ばれる素晴らしい県であります。将来にわたりその状況を維持していくために新しい総合計画に期待されることも大きいと思います。

さてこのような当県の強みは、日本海側随一の産業基盤と豊かな自然環境にあると思っています。

産業についてですが、今後 10 年間に予想される人口減少にも関わらず現在の産業基盤を維持拡大していく為には高付加価値の新規分野の開発と労働生産性の拡大が必要となります。高付加価値化については、当県製造業の特色である中間財メーカーから最終財への転換とともにブランド化の推進を進めていくべきと思いますが、労働生産性については地域の産業構造を変革し、企業数の多くを占める小規模企業を統合することで、中規模化を促進すべきと思います。これには出産期や子育て期の女性の労働参加率を高めたり、今までできなかった将来の拡大に向けての企画開発研究ということも推し進めるという副次的効果も期待されると思います。

当県の産業は今までどちらかといえば製造業中心でしたが、今後の成長という意味では豊かな自然環境と豊富な水資源を活かした農林水産業に大きな期待が持てると思います。

農業の生産性を高めていく為に専門化と中規模化はもちろんです。地産地消の観点だけでなく、適地適作という観点も同時に持つべきと思います。農業には全くの素人ですが、当県の自然条件は、やはり一義的には米作に適していると思います。小麦の消費量が米の消費を超えた現在、食料安全保障の面からも飯米だけでなく、粉食に適した米の開発研究が期待されると思います。

林業については、水資源や治水など市民生活の多くが森林というインフラに依存していることを県民全体にもっと認識してもらう必要があると思います。その上で、単に間伐材の利用にと留まらず CLT とバイオマスエネルギーなど県内の森林資源がシームレスに循環していく産業基盤を作っていくことが必要だと思います。

最後に人口問題ですが、まず、自然増については残念ながら、短期的な解決策はむずかしいと思います。社会増減では、特に若年女性の流出をどのように防ぐかと他県からの流入を促進するかということになります。

先に述べた産業構造の変革は、この社会増を実現する為の必要条件と思いますが、十分条件ではないと思います。都市部の中心市街地が活性化されて多様で充実した消費生活が楽しめることが必要です。当県の場合は、富山市と高岡市のそれぞれ特色のある町があり、二極化していると思いますが、ここ数十年県からの都市空間整備に関する投資は富山市に偏っているように思われます。高岡市の県西部地区の位置付けを考えて積極的な県からの投資が望ましいと思います。活気のある都市空間は行政による投資だけで実現できるものではありません。県民が就労を通じて十分な収入を得て、それが消費に回ることによって上向きのスパイラルを生み出していくことが必要です。企業経営者として、コスト削減だけによる利潤追求に満足せず付加価値拡大によって適正な配分を行なっていくという志を持つべきと思います。

行政としてそのような企業を後押しする為にも、公契約においては、価格条件だけでなく受託企業の雇用状況なども要件として取り入れていただきたいと思っています。

新しい総合計画策定にあたっての 「有識者アンケート調査」

審議会委員にご就任いただく皆様方に、新しい総合計画策定にあたっての調査を実施させていただきたいと存じますので、調査の趣旨をご理解賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、委員の皆様にご回答いただきましたアンケートにつきましては、とりまとめのうえ、第1回総合計画審議会において、その概要をご説明させていただく予定としております。

<記入要領>

- 1 調査には、団体としてではなく、個人として回答くださるようお願いいたします。
- 2 ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- 3 該当する回答の数字を○で囲んでください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、計画策定の参考資料としてのみ使用されるものであり、それ以外に使用されることは、ありません。
- 5 調査票は、同封の返信用封筒に入れて **11月24日(木)まで**に、県知事政策局あてご返送願います。

※ご不明な点などがございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

富山県知事政策局 総合計画・政策評価担当

電話: 076-444-9609

FAX: 076-444-3473

(10年後のイメージ)

問1 10年後の県民生活はどのようになるとお考えですか。
次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
1 北陸新幹線や富山きときと空港、伏木富山港の機能の充実に伴い、国内外からビジネスや観光などで、人、モノが活発に行き来するなど県内経済が活性化している	1	2	3	4	5
2 安心して働ける職場が確保されている	1	2	3	4	5
3 女性・高齢者・障害者などが、自分にあった働き方を選択できる環境が整っている	1	2	3	4	5
4 環日本海地域の拠点として、県内企業と海外企業との取引や交流が活発となり、多くの県内企業が海外に販路を持っている	1	2	3	4	5
5 情報通信技術の活用により、生活関連情報や行政・災害関連情報などがいつでもどこでもだれでも入手し利用できるようになっている	1	2	3	4	5
6 仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを生み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている	1	2	3	4	5
7 基礎的な学力を身につける教育に加え、子どもの個性・創造性を伸ばす教育が行われている	1	2	3	4	5
8 学術研究や科学技術、スポーツ、文化等の分野で国内外で活躍する人が増えている	1	2	3	4	5
9 音楽会や演劇、美術展など、様々な文化を楽しむ機会が増えている	1	2	3	4	5
10 地域づくりや福祉、生涯学習、国際交流・協力などのボランティア、NPO(民間非営利組織)などの活動が盛んになっている	1	2	3	4	5
11 医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる	1	2	3	4	5
12 高齢者、障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している	1	2	3	4	5
13 環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している	1	2	3	4	5
14 犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている	1	2	3	4	5
15 その他()					

(富山の魅力)

問2 富山ならではの魅力の形成として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 様々な働く場所があり、所得水準が高いこと
- 2 環日本海・アジア地域の交流拠点として、活発な活動を展開していること
- 3 サービス産業等も含めた都市集積がみられること
- 4 新鮮、良質、安全な食材が地元から供給される豊かな食生活ができること
- 5 地域公共交通の利便性が充実していること
- 6 空間的にゆとりがあり、質の高い住宅が確保しやすいこと
- 7 公園、上・下水道など生活環境基盤が充実していること
- 8 恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が活かされること
- 9 様々な教養を身に付けたり、学ぶ機会が多いこと
- 10 自然と共生し、豊かな緑や水辺と身近にふれあう暮らしができること
- 11 富山ならではの自然や文化を体験できる場が多いこと
- 12 富山固有の文化に容易にふれ、参加できること
- 13 高齢者や障害者など、社会的弱者の人たちに対するきめ細かな福祉サービスが行き届いていること
- 14 保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること
- 15 犯罪や交通事故が少なく、自然災害の不安が少ないこと
- 16 その他()

(県土づくり)

問3 本県の県土づくり(社会資本整備)施策として、今後10年間を通して、どのような成果を重視して整備を進めるべきとお考えですか。
次の中から、あなたの考えに近いものを3つ選んで○をつけてください。

- 1 国内外の交流の活発化(新幹線・空港・港湾施設整備・観光インフラ)
- 2 国際的な競争力の確保(産業の集積、産業支援機関の設備等)
- 3 災害に対する安全性の確保(公共施設の耐震化、長寿命化等)
- 4 生活の快適性、利便性の向上(道路ネットワークの整備等)
- 5 美しい街並みや景観の形成(無電柱化等)
- 6 高齢社会への対応(バリアフリー化等)
- 7 少子化、子育て支援への対応(保育サービスの充実等)
- 8 人と自然との共生(自然環境の保全等)
- 9 低炭素社会の構築(省エネ・再生可能エネルギーへの転換)
- 10 人口減少への対応・地域の自立、活性化(県立大学の整備等)
- 11 循環型社会の構築(廃棄物の適正処理等)
- 12 地域公共交通の充実
- 13 その他()

(重点施策)

問4 本県が、今後10年間を通して、特に重点的に推進していくことが求められる施策は何だとお考えですか。現行計画「新・元気とやま創造計画」の柱として掲げる各施策について、あなたのお考えに近いものを、《活力》、《未来》、《安心》の各分野からそれぞれ3つまで、「行財政改革」については1つ、「人づくり」については2つ選んで○をつけてください。

《活力》(3つまで)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1 新たな成長産業の育成 | 12 水産業の振興 |
| 2 未来を拓く起業チャレンジへの支援 | 13 北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり |
| 3 産学官連携によるものづくり産業の高度化 | 14 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成 |
| 4 企業立地の促進 | 15 利便性の高い道路ネットワークの整備 |
| 5 中小企業の振興 | 16 情報通信基盤の充実と活用 |
| 6 デザインの振興と活用 | 17 快適で活力ある魅力的なまちづくり |
| 7 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり | 18 中心市街地の賑わいの創出 |
| 8 雇用の確保と人材の育成 | 19 選ばれ続ける観光地づくり |
| 9 環日本海・アジアなど国際ビジネス展開の促進 | 20 国際観光の推進 |
| 10 農業生産の振興 | 21 富山のブランドカアアップ |
| 11 森林の整備と林業の振興 | |

《未来》(3つまで)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 家庭・地域・職場における子育て支援 | 11 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮 |
| 2 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援 | 12 元気な高齢者の活躍の場の拡大 |
| 3 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進 | 13 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成 |
| 4 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 | 14 グローバル社会における地域づくり・人づくり |
| 5 大学教育・学術研究・科学技術の振興 | 15 交流人口の拡大、定住・半定住の促進 |
| 6 生涯をととした学びの推進 | 16 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見 |
| 7 ふるさとを学び楽しむ環境づくり | 17 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり |
| 8 芸術文化の振興 | 18 農山漁村の活性化 |
| 9 多様な主体による社会貢献活動の推進 | 19 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり |
| 10 若者の自立促進とチャレンジ支援 | |

《安心》(3つまで)

1 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	11 水資源の保全と活用
2 医療提供体制の充実	12 多様化・効率化を通じたエネルギー需給の安定確保
3 健康づくりと疾病対策の推進	13 生活交通の確保
4 高齢者福祉の充実	14 住環境の向上
5 障害者福祉の充実	15 雪に強いまちづくり
6 食の安全確保と地産地消・食育の推進	16 県土保全の推進
7 スポーツの振興	17 防災・危機管理体制の充実
8 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	18 地震防災対策の充実
9 自然環境の保全	19 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり
10 生活環境の保全	20 消費生活の安全の確保

《行財政改革の推進》(1つ)

1 オープンで分かりやすい県政	4 民間の知恵・創意工夫の活用
2 現場重視で効率的な県政	5 市町村、地域の自立と支援
3 スピード重視の県政	6 「とやまから日本を変える」改革と創造

《人づくり》(2つ)

1 将来を担う子どもの基礎づくり	4 女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
2 若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	5 高齢者の活躍の場の拡大
3 働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり	

(新規成長産業)

問5 成長が期待される産業分野について、本県として、今後10年間を通して、どのような分野に力をいれて取り組むべきだとお考えですか。
 次のそれぞれの分野について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	重点的に力をいれていくべき	力を入れていくべき	力を入れる必要はない	わからない
1 IoT、ビッグデータ、AI(人工知能)	1	2	3	4
2 医療・バイオテクノロジー(抗体医薬品、核酸医薬品等)	1	2	3	4
3 ロボット(生産性向上、社会インフラ、メンテナンス、農作業省力化等)	1	2	3	4
4 観光(国際観光、広域観光)	1	2	3	4
5 健康・福祉(医薬工連携、介護福祉機器、スポーツ等)	1	2	3	4
6 環境(廃棄物処理、リサイクル関連、環境関連装置等)	1	2	3	4
7 エネルギー(再生可能エネルギー、次世代自動車、水素エネルギー等)	1	2	3	4
8 新製造技術(デジタルものづくり、高機能素材等)	1	2	3	4
9 航空・宇宙産業	1	2	3	4
10 クリエイティブ産業(デザイン、アニメ、映画、ゲーム等)	1	2	3	4
11 食・ファッション	1	2	3	4
12 住宅(住宅リフォーム、住宅設備関連機器、輸入住宅、新建材等)	1	2	3	4
13 ビジネス支援(事務代行等アウトソーシング、イベント企画等)	1	2	3	4
14 その他()				

(新産業の創出)

問6 本県の新技術・新産業の創出の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 企業、大学、試験研究機関等の連携による研究開発の促進
- 2 企業の研究開発活動に対する支援・指導強化
- 3 県内企業同士の連携による新技術・新商品の開発
- 4 研究成果を実用化に結び付けるための支援組織の整備
- 5 県外・海外企業との連携による販路開拓の支援
- 6 国や県外企業等の研究機関の誘致
- 7 交通・情報・通信インフラの整備
- 8 ベンチャー企業の育成・支援強化
- 9 技術情報などの情報提供機能の充実
- 10 科学技術の発展を担う研究者や技術者の育成
- 11 青少年の科学技術への関心醸成
- 12 その他()

(商業・サービス業施策)

問7 本県の商業・サービス業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 コミュニティビジネスの支援(子育て支援、買い物支援サービス、地域おこしなど)
- 2 健康産業等のサービス業の振興
- 3 市街地再開発の推進
- 4 魅力ある商店街づくり(消費者のニーズに合致した豊富な品揃えなど)及び賑わいの創出
- 5 中心市街地での公共施設等の整備
- 6 交通・IT等のインフラ整備
- 7 大型店の出店抑制
- 8 効率的な流通・物流システムの整備
- 9 公共サービスの民間への移行促進
- 10 人材育成の支援
- 11 小規模事業者の経営改善に対する個別相談・指導等の促進
- 12 新規創業の支援
- 13 インターネットを活用した商業・サービス業の振興
- 14 その他()

(注) コミュニティビジネス: 地域住民が主体となって、地域の課題を地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法を用いて解決する取組み

(若者の定着)

問8 本県に若者が定着・流入するためには、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 大学など高等教育機関の充実
- 2 スポーツ、娯楽施設、文化施設の整備
- 3 公園や緑地など快適な環境の整備
- 4 都会的なセンスとオシャレ感覚を持つ中心市街地の形成
- 5 催し物やイベントの開催
- 6 海や山など豊かな自然の活用
- 7 若者の能力が発揮できる職場の確保
- 8 仕事と家庭生活、地域活動等が両立できる、ゆとりある職場環境の整備
- 9 結婚、出産、子育てのための環境整備
- 10 家庭や地域における連帯感の高揚
- 11 古い因習や地域のしがらみからの解放
- 12 県の中心都市へ高次な都市機能を集積する
- 13 各広域圏の中心都市において、それぞれ不十分な機能を強化し、全体として総合的な機能を強化する
- 14 各市町村ごとにそれぞれ得意分野の機能を強化し、独自性のある都市化を図る
- 15 高速交通網の整備による大都市との時間距離の短縮
- 16 地域公共交通の利便性向上
- 17 その他()

(観光産業施策)

問9 本県の観光が振興するためには、今後10年間を通して特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください。

- 1 観光マーケティング等に基づく官民一体となった戦略的な観光地域づくりの促進
- 2 多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成
- 3 外国人旅行者等にも対応した一定のグレードの宿泊施設の整備
- 4 観光産業と他産業の連携による地域内での経済循環の促進
- 5 観光の担い手としての事業者や県民の意識醸成
- 6 新幹線駅など交通結節点における広域観光の拠点整備(旅行者向けサービスのワンストップ化など)
- 7 新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上
- 8 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」「富山湾」の高付加価値化
- 9 食や伝統文化、工芸品等の観光資源の発掘や磨き上げ、観光商品化
- 10 産業観光、ロケ地めぐり、グリーンツーリズム等多様なツーリズムの推進
- 11 美術館・博物館等の一層の魅力向上と質の高い文化芸術を楽しむ企画の観光商品化
- 12 温泉・食・文化等を活かした冬季の魅力創出による通年観光の促進
- 13 世界水準の観光地や上質なライフスタイルのブランド化や、マーケティングに基づく効果的な情報発信
- 14 交通事業者や旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション
- 15 外国人観光客の誘致など国際観光の推進
- 16 広域観光周遊ルートの形成促進
- 17 外国人個人旅行者(FIT)に対応した受入態勢の整備・充実
- 18 会議、大会などのコンベンションの誘致
- 19 その他()

(注) グリーンツーリズム: 農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

(農林水産業施策)

問10 本県の農林水産業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを4つまで選んで○をつけてください。

- 1 地産地消の推進や食生活の改善など、食育の推進
- 2 高品質で美味しい「売れる富山米」の生産体制の整備
- 3 野菜、果樹などの園芸作物の生産拡大の促進
- 4 安全で安心な畜産物の生産の促進
- 5 県産農林水産物のブランド力の向上(とやまブランドの育成・確立)
- 6 6次産業化や農商工連携による収益性の向上
- 7 県産農林水産物の流通・販売の促進
- 8 将来の農林水産業を支える担い手の育成確保
- 9 化学肥料や農薬の使用量の低減など、環境にやさしい農業の推進
- 10 農林水産業技術の研究開発と普及指導の充実
- 11 鳥獣被害の防止や耕作放棄地の解消などによる優良農地の確保
- 12 競争力ある農業の実現に向けた農地の大区画化や汎用化など農業生産基盤の整備
- 13 県産木材の安定供給と利用の促進
- 14 新鮮で安全な水産物の供給基盤としての漁港の整備
- 15 栽培漁業の振興と漁場環境の保全
- 16 県産農林水産物の海外への販路開拓
- 17 その他()

(農山漁村の課題)

問11 本県の住みよい農山漁村をつくるための施策として、今後10年間を通して、基盤となる農林水産業の発展のほか、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 伝統文化や地域文化を活かした地域づくりへの支援
- 2 農業者と地域住民が一体となり農業用排水路等を管理する体制づくりの推進
- 3 県民参加による森づくりの推進
- 4 自然環境や農山漁村景観を保全する活動への支援
- 5 都市との交流促進などによる地域おこしを担う人材の育成・確保
- 6 都市住民との交流促進のためのイベント開催や情報の発信
- 7 農林水産業や豊かな自然を学習、体験できる機会の提供
- 8 農村地域や県民生活の安全を守る防災対策の推進とため池などの安全施設の整備
- 9 農村の生活環境の整備
- 10 特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興
- 11 その他()

(情報化)

問12 地域社会や県民の生活における情報通信技術に対するあなたの期待度はそれぞれの程度ですか。
次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

	非常に期待している	ある程度期待している	期待度は普通である	あまり期待していない	期待していない
1 情報ネットワークによる遠隔高度医療・在宅医療	1	2	3	4	5
2 情報ネットワークによる在宅学習	1	2	3	4	5
3 情報ネットワークによる学校教育の高度化	1	2	3	4	5
4 情報ネットワークによる防災・緊急情報提供	1	2	3	4	5
5 情報ネットワークによる食や地域における安全情報の提供	1	2	3	4	5
6 情報ネットワークによる生活情報や地域のイベント・催事情報の提供	1	2	3	4	5
7 情報ネットワークによる観光情報の提供	1	2	3	4	5
8 情報ネットワークによる在宅での行政手続(電子申請等)	1	2	3	4	5
9 テレビ電話・会議等による遠隔地居住者との対話	1	2	3	4	5
10 高度情報化によるAI、IoT等新産業の創出	1	2	3	4	5
11 テレワークの普及促進	1	2	3	4	5
12 障害者や高齢者などに対する情報面のバリアフリー化	1	2	3	4	5
13 光ファイバー網などの超高速で通信できるネットワーク環境の整備	1	2	3	4	5
14 個人情報の保護や情報セキュリティの確保	1	2	3	4	5
15 フリーWi-Fi(無料公衆無線LAN)の普及	1	2	3	4	5
16 マイナンバーカードの利活用による利便性の向上	1	2	3	4	5
17 オープンデータによる情報の提供	1	2	3	4	5
18 その他()					

(注) AI: Artificial Intelligenceの略で、人工知能のこと。

IoT: Internet of Thingsの略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

(少子化対策)

問13 行政(国・県・市町村)が少子化対策に取り組むにあたって、今後10年間を通して、どのようなことが重要だとお考えですか。
次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備
- 2 延長保育や一時保育などの多様な保育サービスの充実
- 3 出産や子育てに関する相談体制の充実
- 4 保育料・授業料などの子育てにかかる経済的負担の軽減
- 5 子ども手当など、経済的支援の拡充
- 6 学校や地域、企業等における、少子化問題や、子育ての楽しさ、大切さに関する教育や啓発、若い世代へのライフプラン教育の推進
- 7 若者の経済的自立を促進する職業教育や就労支援
- 8 若者の定着や流入を促進するための施策の充実
- 9 結婚を希望する男女の出会いの場の提供など結婚支援の充実
- 10 個人の問題であり、行政が取り組む必要はない
- 11 その他()

(児童の健全育成)

問14 子どもや家庭をめぐる様々な問題が生じていますが、家庭や地域で子どもの健全な育成を図るため、今後10年間を通して、どのようなことが必要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保
- 2 子どもが安心して遊べる場所や施設の確保
- 3 子どもの自立心を育む教育の推進
- 4 子どもや親が地域で行われる多様な活動へ参加する機会の確保
- 5 親子がふれあえる時間の確保
- 6 子どもを持つ親同士が交流する機会の確保
- 7 児童健全育成活動の推進にあたる指導者の確保
- 8 補導活動等の少年非行対策
- 9 子どもたちを取り巻く有害な社会環境の浄化
- 10 子育てに関する知識の提供や悩みなどに対する相談援助の体制整備
- 11 企業における家庭教育講座など働く親が子育てを学ぶ機会の充実
- 12 その他()

(学校・家庭・地域での教育)

問15 学校や家庭、地域では、どのようなことを身に付けることが必要だとお考えですか。
あなたのお考えに近いものを、義務教育、高校教育、家庭、地域別にそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。

		義務教育	高校教育	家庭	地域
1	基本的な生活習慣を身に付けること				
2	生涯にわたって学ぶべき必要な基礎学力を身に付けること				
3	豊かな感性や情操、創造性を身に付けること				
4	人間関係を築く力を身に付けること				
5	自ら考える力、科学する心や探究力、表現力、自ら課題を解決する能力等を身に付けること				
6	他人への思いやりの心をもつこと				
7	困難にくじけない忍耐力を身に付けること				
8	善悪を判断して行動する力を身に付けること				
9	社会のために尽くす態度を身に付けること				
10	ふるさとへの理解を深め、誇りや愛着を深めること				
11	命を大切に作る心をもつこと				
12	情報を取捨選択し活用する力を身に付けること				
13	積極的に物事に取り組む姿勢を身に付けること				
14	興味や関心、適性に応じ、自らの進路を選択する力を身に付けること				
15	健康保持や体力づくりの習慣を身に付けること				
16	物やエネルギーを大切に作る心をもつこと				

(男女共同参画の推進)

問16 本県で、男女共同参画社会の実現が十分に達成されていないとすれば、その主な要因は何であるとお考えでしょうか。
次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 家庭において、家事・育児・介護などを女性の役割とする意識があること
- 2 職場などにおいて、女性に不利な扱いがなされていること
- 3 社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと
- 4 家庭や地域社会より仕事を重視する意識があること
- 5 その他()

(地域の中での協働の推進)

問17 本県で、行政、ボランティア・NPO、企業などが、お互いの特性を活かして社会づくりを進めているためには、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進
- 2 行政のボランティア・NPO活動に対する理解促進
- 3 行政やNPOなどの積極的な情報公開・情報提供の推進
- 4 NPO・ボランティアの人材養成
- 5 NPOの財政、組織基盤の強化
- 6 企業が社会貢献活動を進めるための資金や休暇など社内制度の整備
- 7 行政とNPOとの積極的な連携・協働の推進
- 8 NPOと企業との連携・協働の推進
- 9 NPOと自治会・町内会などの地縁型団体との連携・協働の推進
- 10 その他()

(国際交流・国際協力)

問18 本県の国際交流・国際協力施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 情報の提供など県民が主体的に取り組む国際交流・協力活動への支援
- 2 海外の友好提携自治体などとの交流・協力事業の推進
- 3 海外投資や投資受入れを促進するための環境整備
- 4 富山空港への国際線(チャーター便を含む)の誘致
- 5 フェリー、コンテナ航路の新設
- 6 国際会議など国際的イベントの開催
- 7 優れた技術を有するボランティア派遣や、海外研修員・留学生の受入などの促進
- 8 海外での日本語教育の支援や日本語教師の派遣
- 9 外国語指導助手などの増員や語学教育の充実
- 10 各種案内標識への外国語の併記の推進
- 11 在住外国人や外国人子弟に対する日本語教育の機会の提供
- 12 外国人にも住みやすい多文化共生社会にするための普及啓発
- 13 国連機関との連携や北東アジアの自治体組織などを通じた協力活動
- 14 日本海学など環日本海地域に関する総合的な調査研究の推進
- 15 気候変動・生物多様性・漂着ごみ・黄砂対策等、環日本海地域の国際環境保全対策の推進
- 16 その他()

(健康づくり)

問19 本県の健康づくり施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んで○をつけてください。

- 1 がん検診、健康診断等の充実
- 2 健康に関する正しい情報・知識の提供や健康相談の充実
- 3 地域ぐるみでの健康づくりの実践への支援
- 4 健康づくりに関する人材(医師、薬剤師、保健師、栄養士、健康運動指導者等)の育成などの健康づくり環境の整備
- 5 歩こう運動やスポーツ・レクリエーション活動の充実のための環境の整備
- 6 食育の推進
- 7 個人の問題であり、行政が取り組む必要はない
- 8 その他()

(スポーツ振興)

問20 本県のスポーツ振興施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化
- 2 各種スポーツ行事・大会・教室の開催(気軽にスポーツに親しめる機会の充実)
- 3 スポーツ施設(学校体育施設開放を含む)の利・活用の促進
- 4 地域で活躍できるスポーツ指導者やボランティアの育成
- 5 学校・家庭・地域が連携した、運動好きな子どもの育成
- 6 プロスポーツと連携した、スポーツ活動の推進
- 7 スポーツ顕彰制度の充実
- 8 スポーツ医・科学トレーニング等による、全国や世界で活躍できるトップアスリートの育成
- 9 全国的・国際的スポーツ大会の誘致開催とスポーツ国際交流の推進
- 10 全国や世界で活躍するトップアスリートを県民あげて支える応援体制の整備
- 11 その他()

(注) 総合型地域スポーツクラブ: 地域住民が主体的に運営するクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味、関心、技術、技能レベルなどに応じて参加できるスポーツクラブ

(高齢社会対策)

問21 高齢化が進展していく中で、本県の高齢社会対策の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 健康づくり体制の充実・支援
- 2 生きがい対策の推進
- 3 高齢者の就業機会の拡大
- 4 生涯学習環境の充実
- 5 在宅福祉・介護サービスの充実
- 6 高齢者などにやさしい安全で移動しやすい街づくりの推進
- 7 高齢者が安心して暮らせる住宅の整備
- 8 老人福祉・介護保険施設等の充実
- 9 認知症施策の推進
- 10 その他()

(地域交通施策)

問22 本県の鉄道、路面電車、バスなどの地域公共交通に対する施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを2つ選んで○をつけてください。

- 1 過度のマイカー利用から公共交通への利用転換の促進(ノーマイカー運動等)
- 2 公共交通の利便性や安全性を向上する施策の推進(輸送設備整備支援等)
- 3 生活交通路線を維持する施策の推進(生活路線バス運行支援等)
- 4 人にやさしい公共交通を確保する施策の推進(低床バスや車輛の導入支援等)
- 5 環境負荷の低減を図る施策の推進(低公害バス導入支援等)
- 6 公共交通ネットワークの利便性向上の取組み(乗継案内、共通ICカードの導入等)
- 7 北陸新幹線開業に伴い経営分離された、あいの風とやま鉄道の維持・活性化の取組み
- 8 新幹線駅や空港を起点とした広域的な公共交通ネットワークの充実
- 9 運転者など交通従事者の人材育成(バス運転者の確保等)
- 10 その他()

(環境問題)

問23 本県の環境施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。
次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 生物多様性が保全され、人と野生生物が共生できる社会を構築すること
- 2 水や緑に恵まれた自然とのふれあいの場をもっと増やすこと
- 3 低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直す(食品ロス・食品廃棄物の削減、節電・省エネ)などの一人ひとりの取組みを推進
- 4 水の利活用と自然の水循環との調和を目指すこと
- 5 公害防止などの監視体制の強化や環境保全に関する規制の強化
- 6 県民、事業者、民間団体、行政等がそれぞれ実施する自主的な環境保全活動(海岸清掃美化活動など)の、連携を促す仕組みづくり
- 7 次世代を担う子どもが環境保全について理解を深めること
- 8 環境に関する情報を積極的に提供すること
- 9 環境問題を解決するため、科学技術の発展に力を入れること
- 10 環境負荷の小さいエネルギー源(小水力、太陽光、地熱、廃棄物発電等)の利用を増やすこと
- 11 その他()

(防災対策)

問24 本県の防災対策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。
次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 防災拠点機能の強化
- 2 災害情報伝達機能の強化
- 3 災害に備えた避難場所の整備や物資の確保
- 4 災害時要配慮者(高齢者、障害者等)対策の充実
- 5 津波対策の充実
- 6 原子力災害対策の充実
- 7 火山防災対策の充実
- 8 災害医療体制の充実
- 9 公共土木施設や農業水利施設、学校等の地震対策の充実
- 10 木造住宅の耐震化の促進
- 11 新聞やテレビ等による県民の防災意識の高揚、防災教育の充実
- 12 防災訓練等を通じた県民の災害時の対応力向上
- 13 その他()

(安全なまちづくり)

問25 県民の治安に対する関心は高まっておりますが、本県の安全なまちづくりへの施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 凶悪事件やグローバル化する犯罪、組織犯罪対策の推進
- 2 身近で発生する犯罪の予防と検挙活動の強化
- 3 子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進
- 4 高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進
- 5 非行少年の補導や少年犯罪の検挙活動の強化
- 6 交番相談員の配置など交番体制の強化
- 7 警察官のパトロール活動など街頭活動の強化
- 8 地域住民による自主防犯活動体制の強化
- 9 犯罪被害者等の支援活動の充実強化
- 10 重大交通事故に直結する悪質な違反取締りの強化
- 11 国際テロやサイバー攻撃対策の推進
- 12 科学捜査資機材の高度化などによる捜査力の強化
- 13 その他()

重点施策(人づくり)

問26 現行計画において、目指すべき将来像の実現に当たっては、各分野を支え牽引する人材の存在が極めて重要となることから、「人づくり」を「活力」、「未来」、「安心」を支える重要施策として位置づけています。本県の目指す「人づくり」を進めるにあたっては、特にどのような施策が重要だとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成
- 2 変化する社会に果敢にチャレンジし、困難にくじけない子どもの育成
- 3 ふるさとに誇りと愛着を持ち、家族や地域の絆を大切にすることの育成
- 4 若者がたくましく成長するための支援
- 5 若者の職業的自立の支援
- 6 若者の社会の一員としての自立の促進
- 7 経済・産業の発展を支える働き盛りの人々が能力を発揮できる環境づくり
- 8 コミュニティを支え、地域活性化の中心となる人材が育つ環境づくり
- 9 女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
- 10 元気な高齢者の就業・起業支援
- 11 高齢者の地域貢献活動の支援
- 12 高齢者の知識や経験、技能の継承

(財政の健全化)

問27 地方財政は、国の「経済財政運営と改革の基本方針(H28.6閣議決定)」に基づき、引き続き地方交付税の削減が懸念される一方、高齢化等に伴い社会保障関係費その他の義務的経費が増加を続けるなど、極めて厳しい状況にあります。本県の財政健全化について、あなたはどのようにお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- 1 住民生活に必要な標準的なサービスの提供にとどまってもやむを得ない(県独自の医療費助成や少人数教育などのサービスは縮減してもやむを得ない)
- 2 現在のサービス水準を維持していくため、ある程度の負担増もやむを得ない(施設の利用料のアップ、地方消費税の引上げや地方環境税などの導入も検討する必要がある)
- 3 地方財政の赤字が生じていても、サービス水準を低下させるようなことは行うべきではない
- 4 民間委託や市町村への権限移譲を進めるなど、行政と民間、県と市町村の役割分担を見直し、県が行う事務事業を縮減すべきである
- 5 その他()

(行財政改革)

問28 本県では平成16年4月以降、一般行政部門の職員数を22.4%削減してきました。また、平成26年4月からの5年間でさらに同職員数を5%削減、その上で県政の重要施策や新たな行政需要に対応が必要な部門には2%の範囲内で必要な人員を措置し、純減としては3%以上の削減を目指すなど、さらなる徹底した行財政改革に取り組んでいます。どのようなことをより優先すべきだとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 県庁の本庁(部局室課)や出先機関の組織の簡素化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、職員数を抑制・削減する
- 2 早期勧奨退職制度の活用、時間外勤務の縮減、給与制度の見直しなどにより人件費を抑制・削減する
- 3 職員の資質向上、意識改革や政策形成能力を高める人材づくりを行う
- 4 限られた人員・予算を有効に活用するため、事務事業の廃止・縮小を行う
- 5 ボランティア、NPO、企業等の多様な担い手による公共サービスの提供を推進する
- 6 県の外郭団体の統廃合、業務執行の効率化を進める
- 7 公共施設の長寿命化等を図るとともに、国や市町村、民間等との役割分担による施設のあり方の検討を進める
- 8 県民の意見をもっと県政に反映できるような体制づくりを行う
- 9 インターネット、マスメディア等の活用などにより、広報の充実や行政情報の提供を進める
- 10 庁内LANなどを活用して事務の簡素化や情報の共有化を図る
- 11 行政手続の添付資料を減らしたり、許認可権限の見直しなど規制緩和を行う
- 12 窓口業務の改善や施設の開館時間の延長など行政サービスの向上を図る
- 13 その他()

(広域連携の推進)

問29 本県が広域的な連携による地域づくりを行うためには、今後10年間を通して、特にどのような連携を重視していくべきとお考えですか。
次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 北陸三県(石川、福井)の連携を強化していく
- 2 北陸四県(石川、福井、新潟)の連携を強化していく
- 3 飛騨、能登地域との連携を強化していく
- 4 北アルプスを巡る岐阜、長野、新潟などで連携していく
- 5 日本の中央に位置する中部圏の各自治体と連携していく
- 6 日本海側の自治体と連携していく
- 7 本県とゆかりのある自治体などと幅広く連携していく
- 8 農山村と大都市圏などとの交流を活発にする
- 9 中国、韓国、ロシア沿海地方など環日本海地域との交流を活発化させる
- 10 東南アジア、インドなどアジア地域との交流を活発化させる
- 11 その他()

【自由意見欄】

その他、ご意見・ご提言がございましたら、自由にご記入ください。

なお、ご記入の際には、下記の《活力》《未来》《安心》《人づくり》《行財政改革の推進》の各番号からご意見等の内容に対応する番号を選択ください。

《活力》	
1 新たな成長産業の育成	12 水産業の振興
2 未来を拓く起業チャレンジへの支援	13 北陸新幹線の整備促進と新幹線駅を核とした交流拠点づくり
3 産官学連携によるものづくり産業の高度化	14 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成
4 企業立地の促進	15 利便性の高い道路ネットワークの整備
5 中小企業の振興	16 情報通信基盤の充実と活用
6 デザインの振興と活用	17 快適で活力あるコンパクトなまちづくりの推進
7 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	18 中心市街地の賑わいの創出
8 雇用の確保と人材の育成	19 選ばれ続ける観光地づくり
9 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	20 国際観光の推進
10 農業生産の振興	21 富山のブランドカアアップ
11 森林の整備と林業の振興	
《未来》	
1 家庭・地域・職場における子育て支援	11 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮
2 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援	12 元気な高齢者の活躍の場の拡大
3 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	13 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成
4 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	14 グローバル社会における地域づくり、人づくり
5 大学教育・学術研究・科学技術の振興	15 交流人口の拡大、定住・半定住の促進
6 生涯をとoshした学びの推進	16 自然・歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見
7 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	17 地域の個性を活かした景観づくり、まち並みづくり
8 芸術文化の振興	18 農山漁村の活性化
9 多様な主体による社会貢献活動の推進	19 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり
10 若者の自立促進とチャレンジ支援	
《安心》	
1 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	11 水資源の保全と活用
2 医療提供体制の充実	12 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保
3 健康づくりと疾病対策の推進	13 生活交通の確保
4 高齢者福祉の充実	14 住生活の向上
5 障害者福祉の充実	15 雪に強いまちづくり
6 食の安全確保と地産地消・食育の推進	16 県土保全の推進
7 スポーツの振興	17 防災・危機管理体制の充実
8 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	18 地震防災対策の充実
9 自然環境の保全	19 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり
10 生活環境の保全	20 消費生活の安全の確保
《人づくり》	
1 将来を担う子どもの基礎づくり	4 女性の意欲と能力が活かされる環境づくり
2 若者の成長と自立、社会参加・社会貢献の促進	5 高齢者の活躍の場の拡大
3 若者の社会の一員としての自立の促進	
《県政運営》	
1 オープンで分かりやすい県政	4 現場重視で効率的な県政
2 県民の自立と幸せを重視する県政	5 市町村、地域の自立と支援
3 スピード重視の県政	6 「とやまから日本を変える」改革と創造

活力・未来・安心・人づくり・行財政改革 ※意見内容に応じて、左記の該当項目に○を付けてください。

番号

活力・未来・安心・人づくり・行財政改革 ※意見内容に応じて、左記の該当項目に○を付けてください。

番号

活力・未来・安心・人づくり・行財政改革 ※意見内容に応じて、左記の該当項目に○を付けてください。

番号

活力・未来・安心・人づくり・行財政改革 ※意見内容に応じて、左記の該当項目に○を付けてください。

番号